

入院患者らにやすらぎを



市立甲府病院で行われた「やすらぎコンサート」(19日)

甲府市

甲府市増
坪町の市立甲府病院(村松昭院長)で
十九日「第六回やすらぎ

コンサート」が行われた。タイトルの「やすらぎ」は同病院の基本理念である「いのちに光を、心にやすらぎを」からネーミングされたもので、入院患者らを対象に同地区に移転した一九九九年から開かれている。

当日はギター・マンドリンサークルの「プリラント・マンドリーノ」(常盤由美子会長)を招き、一階の総合エントランスホールに入院患者や面会者など約百五十人を集めて、演奏が行われた。同サークルは旧県立甲府二高、県立女子短大、旧山梨英和短大のマンドリン、ギタークラブのOBで主婦を中心に構成され活動している。演奏は「鉄腕アトム」や「川の流れるように」、「百万本のバラ」など、おなじみの楽曲八曲。患者らはマンドリンの奏でる軽やかな音色に熱心に耳を傾けていた。

わが町
わが村